

# 沿岸定線観測速報 ちば (2024年2月)

千葉丸：2月17～19日

千葉県水産総合研究センター  
千葉県農林水産技術会議  
令和6年3月15日

黒潮は、房総沖で接岸し、北東方向へ流れていました(図2)。  
水温は、銚子・九十九里、外房海域いずれも概ね平年並でした(表1)。

## 【詳細】

沿岸水温は、外房海域の水深200m(平年よりやや高め)を除くと、銚子・九十九里海域、外房海域ともに各水深の水温はいずれも平年並でした(表1)。

水深10,100,200,500mいずれも、岸から沖へ向けて顕著な潮目が形成されていました(図3)。一方、塩分はいずれの水深もほぼ一様で変化は小さめでした(図4)。鉛直的にみると、犬吠埼、九十九里、太東岬沖の大陸斜面上(水深400～500m)に水温6～7℃の冷水が見られました(図5)。

黒潮は接岸して房総沖を流れていました。黒潮流軸～北縁付近では北東へ向かう速い潮が見られ、いすみ沖では6ノットを超すきわめて速い流れになっていました(図2)。

クロロフィル濃度は、銚子・九十九里沿岸の水深10mが1μg/L前後とやや高めでした。一方、水深50mではこのような海域は見られませんでした(図7)。

キンメダイ漁場の水温は、勝浦沖では海面から底層まで概ね例年並、銚子沖では下層ほど例年より水温が低めでした(水深100m以深は例年より1～3℃低め、図8)。

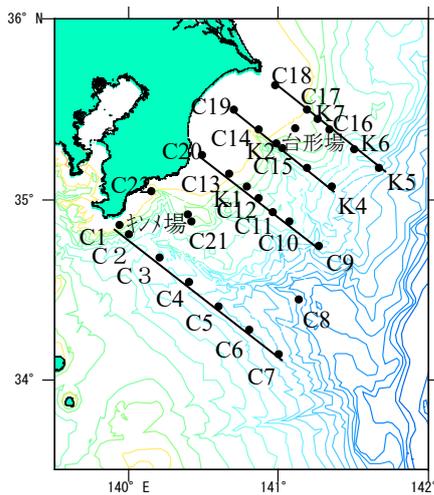


図1 調査点

線は北から犬吠埼、九十九里、太東岬、野島埼南東線

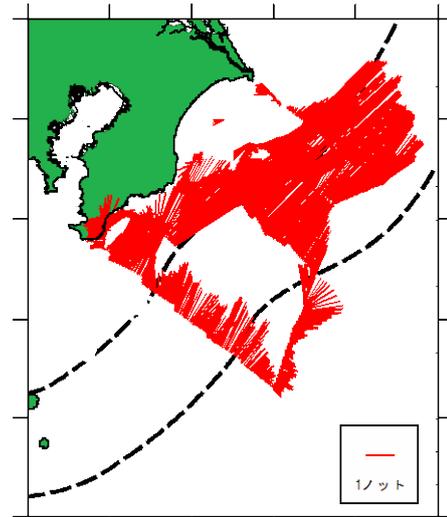


図2 黒潮流路(破線)と流況

表1 海域別平均水温(℃)と評価

海域	0m	50m	100m	200m
銚子・九十九里	16.2 平年並	16.3 平年並	15.1 平年並	14.3 平年並
外房	17.9 平年並	16.9 平年並	15.9 平年並	15.7 やや高め

\*水温評価点 銚子・九十九里海域：C14～20 計7点、外房海域：C1,3,11,13,21,22 計6点

\*沿岸水温評価の目安(σ：標準偏差)

きわめて高め	2.0 σ～
高め	1.3 σ～2.0 σ
やや高め	0.6 σ～1.3 σ
平年並	0.0 σ～0.6 σ, -0.6 σ～0.0 σ
やや低め	-0.6 σ～-1.3 σ
低め	-1.3 σ～-2.0 σ
きわめて低め	-2.0 σ～

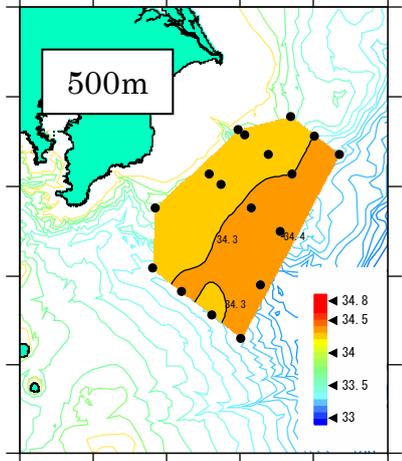
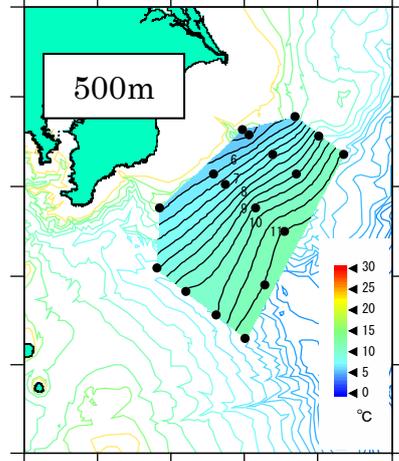
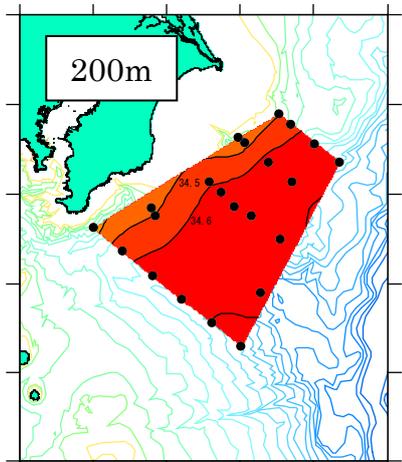
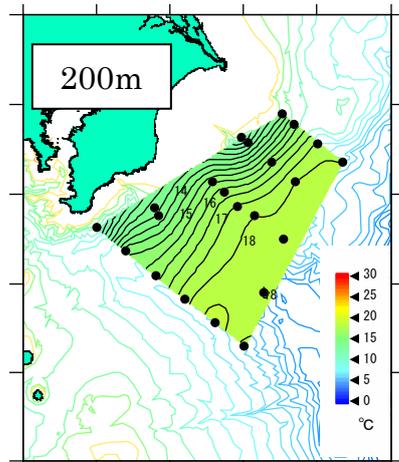
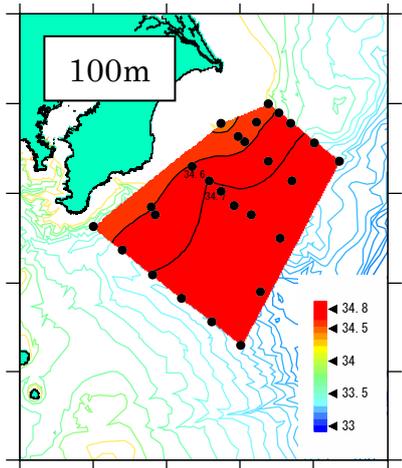
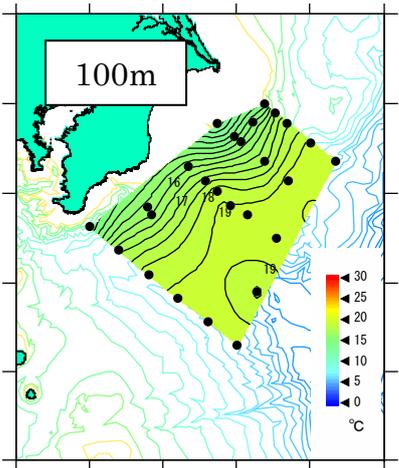
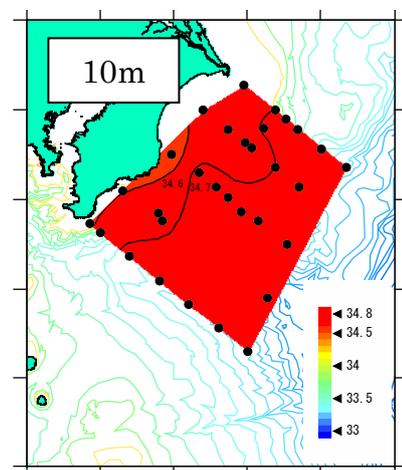
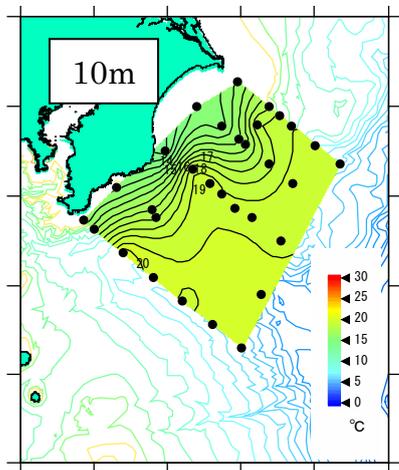


図3 水深別の水温分布

図4 水深別の塩分分布

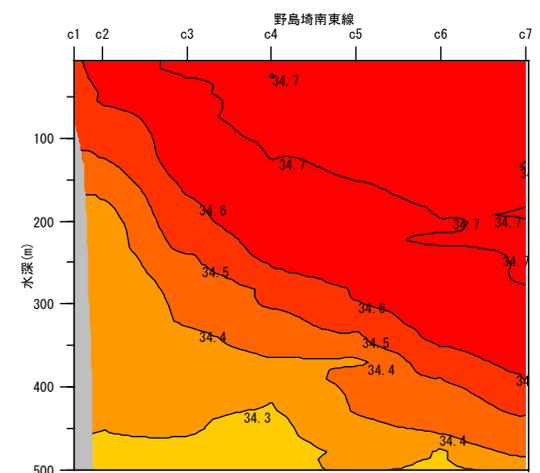
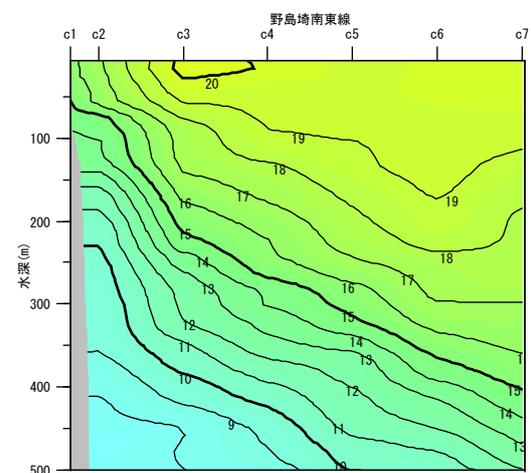
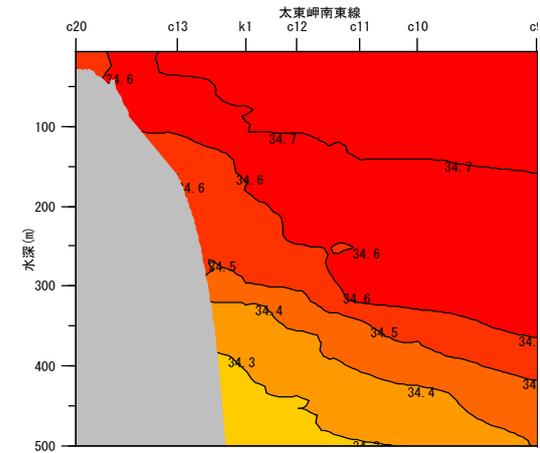
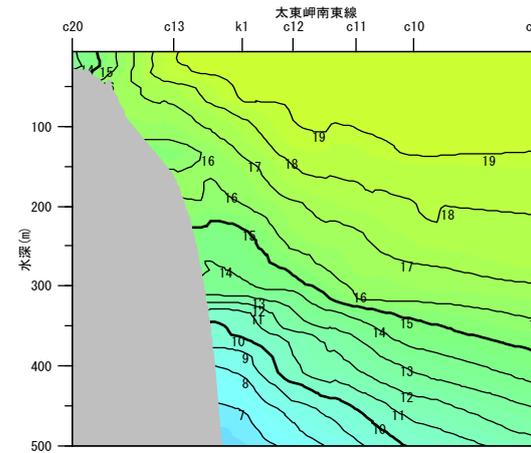
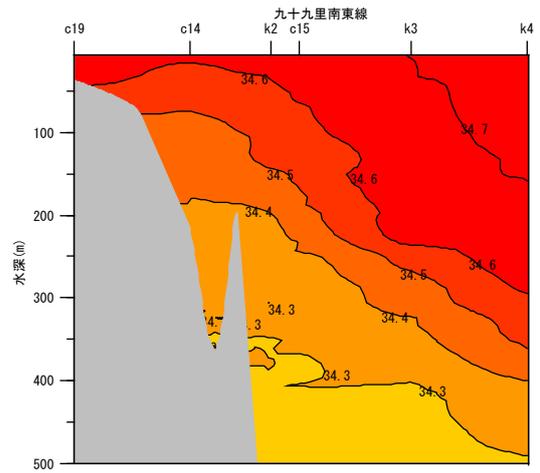
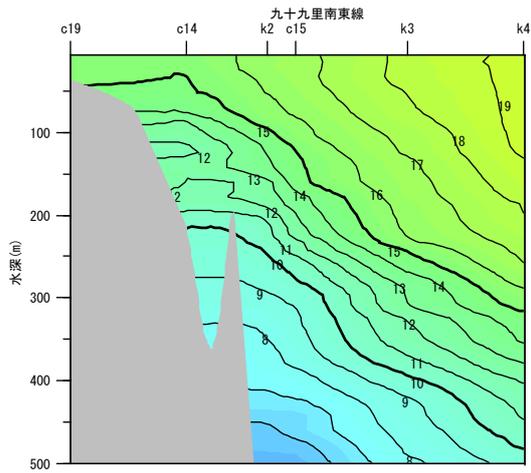
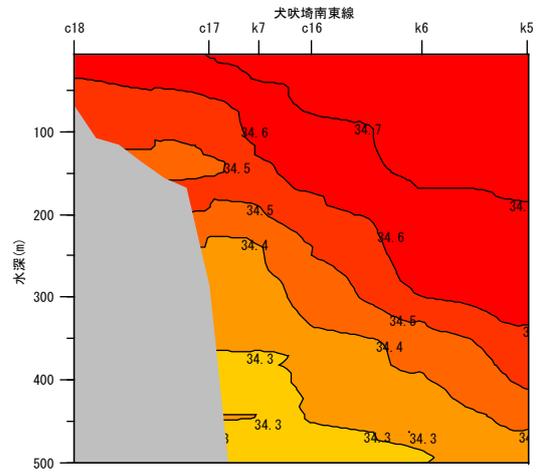
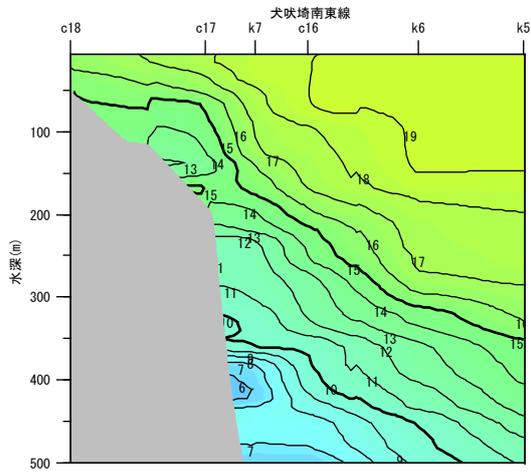


図5 水温鉛直分布

図6 塩分鉛直分布

上から犬吠埼，九十九里，太東埼，野島埼南東線（図1参照）

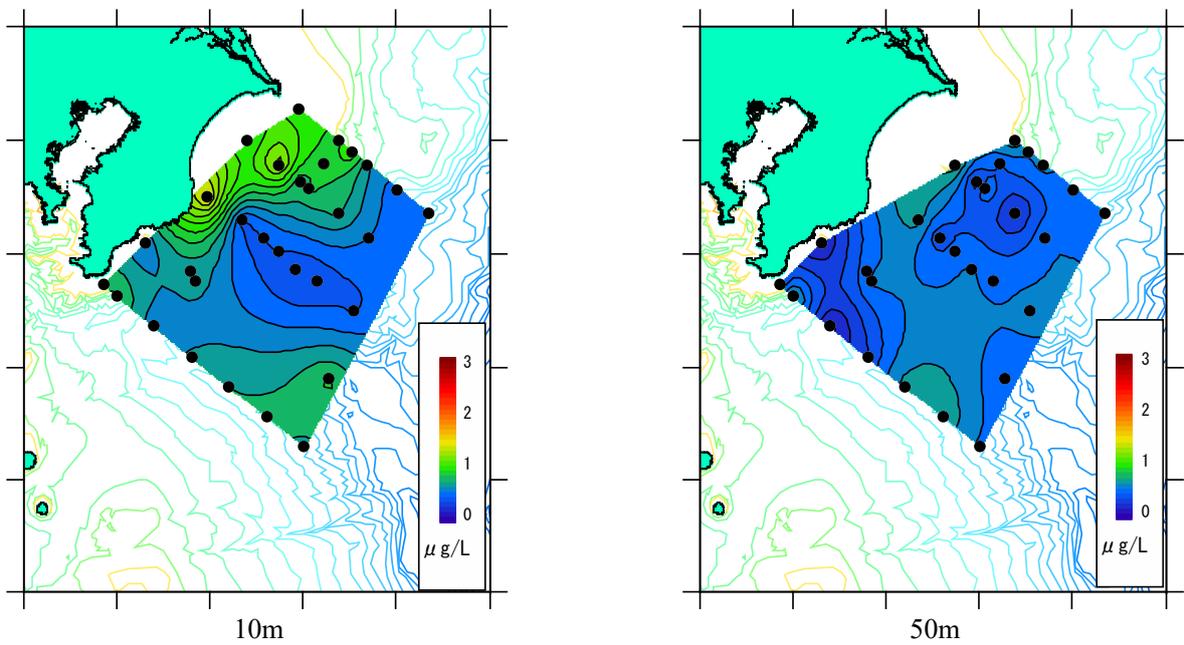
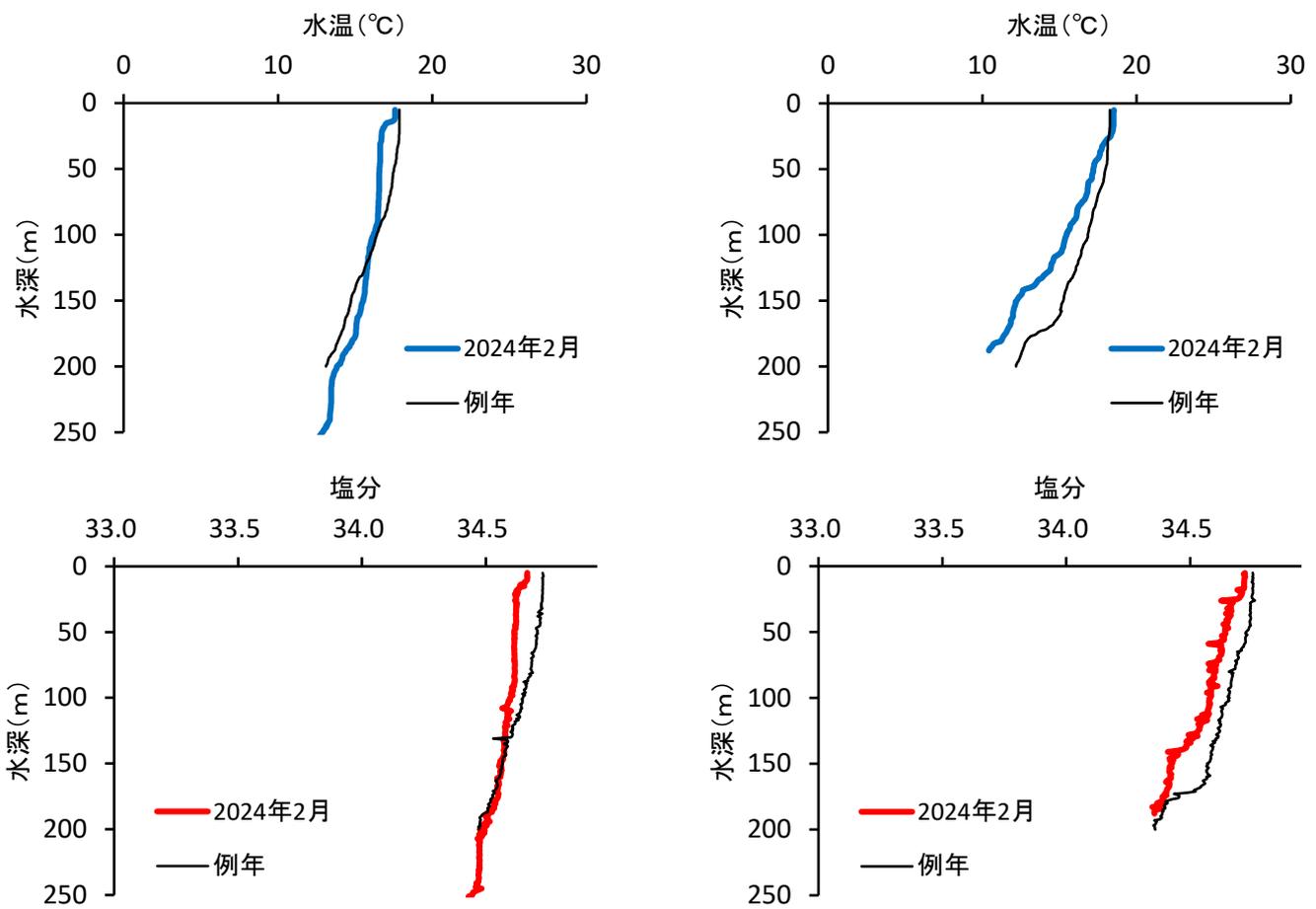


図7 水深別のクロロフィル分布 (単位:  $\mu\text{g/L}$ )



勝浦沖キンメ場

銚子沖台形場

図8 キンメダイ漁場の水温, 塩分鉛直分布 (青: 水温, 赤: 塩分)